

- 平成18年度「国際研究協カジャパントラスト事業」海外研究者招へい案件の採択について
- 平成17年12月21日

独立行政法人情報通信研究機構(NICT。理事長:長尾 真)では、基盤技術研究円滑化法に基づき、民間が実施する通信・放送基盤技術の研究を支援して国際研究協力を推進するため、海外研究者の招へい事業(国際研究協カジャパントラスト事業)を実施しています。

平成17年9月9日から平成17年11月14日にかけて平成18年度事業の公募を実施したところ、4件の提案が提出されました。今般、この4案件について外部の学識経験者・専門家からなる海外研究者招へい事業合同審議委員会通信・放送分科会(参考資料)において審議が行われ、その結果に基づき、別紙のとおり平成18年度事業の案件を採択いたしましたのでお知らせします。

<問い合わせ先>

情報通信研究機構 総務部 広報室
奥山利幸、大野由樹子

Tel: 042-327-6923、Fax: 042-327-7587

<公募に関する問合せ先>

情報通信研究機構 基盤技術研究促進部門
基盤技術研究支援室

小峯隆宏、山越 貴
Tel: 03-3769-6834、Fax: 03-3769-7005

URL: <http://j-trust.nict.go.jp>

別紙

<平成18年度国際研究協カジャパントラスト事業に係る採択案件>

1	研究者氏名:	ハフィズ ファルーク アハマド(37歳男性、パキスタン人)
	所属機関:	パキスタン国立科学技術大学情報技術研究所(助教授)
	受入機関:	(株)コミュニケーションテクノロジーズ
	研究テーマ:	自律的セマンティックグリッドを実現するためのグリッド計算とソフトウェアエージェントの統合
	招へい期間:	平成18年7月上旬から170日間
2	研究者氏名:	パク ウー ヨン(28歳男性、韓国人)
	所属機関:	ソウル国立大学(研究助手)
	受入機関:	(株)富士通研究所
	研究テーマ:	移動通信端末用チューナブル薄膜キャパシタ技術の研究
	招へい期間:	平成18年7月上旬から140日間

海外研究者招へい事業合同審議委員会
通信・放送分科会委員名簿（平成17年度）

(分科会長) デジタルハリウッド大学 教授	小菅 敏夫(こすげとしお)
早稲田大学大学院 国際情報通信研究科 教授	嶋本 薫(しまもとしげる)
静岡大学 電子工学研究所 教授	田部 道晴(たべみちはる)
東京理科大学 工学部経営工学科 教授	八嶋 弘幸(やしまひろゆき)